

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-2-3	2-1-3		事業名	わたしたちの児童会館づくり事業		
担当	子ども未来局子ども育成部子ども企画課 秋山 211-2982						
全体計画							
事業内容	子どもたちが児童会館の運営等に主体的・積極的に関わり、参加できる仕組みづくりを通じて、子どもたちが社会の一員として意見を表明できる機会を増やしていくとともに、地域への愛着や地域づくりに対する関心を育む。 各児童会館及びミニ児童会館において「子ども運営委員会」を設置し、児童会館の運営等に関わる機会をつくり、また、子どもたちの意見や要望を成果として具現化できるよう活動資金の支援を行う。 北郷児童会館の改築に係る「子ども検討委員会」を設置し、児童会館施設の内容に子どもたちの意見を反映させる。 【対象】全児童会館・ミニ児童会館		<年度別の事業内容>				
			・平成19年度 子ども運営委員会 新規48館(計60館)に設置 北郷児童会館改築子ども検討委員会設置 ・平成20年度 子ども運営委員会 全館に設置(新規95館、計155館) ・平成21年度 子ども運営委員会 全館に設置 (仮称)子どもサミットを開催 ・平成22年度 子ども運営委員会 全館に設置				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(予算)				
	子ども運営委員会 「子ども運営委員会」を60館で実施(新規48館)し、行事の企画や事前準備、日常活動に関わるルールについて検討するなど、会館事業への参画によって、児童会館を利用するだけでなく、みんなで「自分たちの居場所」や「まちづくり」について考える機会となった。 【活動促進支援事業】9事業 豊平ブロック:各児童会館の運営委員が集まり1年間の活動報告をしたほか、交流事業やあそびのコーナーを企画・運営 二十四軒児童会館:運営委員会がアンケート調査をし、図書や遊具の選定、購入、環境整備したほか、保育園に読み聞かせを実施 その他:運営委員会設立記念事業、地域連携行事企画・運営 北郷児童会館の改築に係る子ども検討委員会 児童会館施設の内容に子どもたちの意見を反映させる。 【活動内容】構成メンバーを小学4年生から高校2年生を対象に公募し、概要学習や会館探検のほか、実際の利用者へのインタビューや交流を通じ、「わたしたちの児童会館づくり」について話し合う。【開催日時等】第1回～第3回委員会:7月22日、8月5日、9月2日(北郷児童会館)提案発表:9月7日(北郷小学校)【子ども検討委員】15名(小学生8人、中学生7人)		子ども運営委員会 子ども運営委員会を全館(新規95館、計155館)にて設置 【活動促進支援事業】事業の企画や準備、実施、振り返りを通じて、子どもたちが責任感や積極性、協調性を身につけ、自ら社会の一員として参画していると実感できる内容とする。また、地域や家庭との連携や他ブロックとの情報交換を活発化させる。 北郷児童会館の改築に係る子どもミーティング(仮) 北郷児童会館のオープンに向け、「子ども検討委員会」を発展的解消させながらも、普段から児童会館を利用している子どもたちにも新たに意見交換の場に参加してもらい、さらに利用しやすい児童会館づくりに関心を持たせる。				
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
子ども運営委員会設置数(累計)		12館	60館	全館 (155館)	全館	全館	児童会館、ミニ児童会館 全館
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 子ども運営委員会において、児童会館利用者からの意見・要望を集約して、児童会館の運営等に反映させている。また、子ども運営委員が企画した事業への参加を家庭や地域にも呼びかけることで、子どもたちはもとより、地域の方々も市民自治の意識醸成のきっかけとなる。 企業等との連携・協働 【資金協力】 【人材協力】 【情報協力】 【その他の協力】 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 地域を取り込んだ事業に発展させ、また子どもたちの活動状況や事業に関する情報を、地域全体に広く発信することで、多くの市民や企業が参加しやすくなっている。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-2-3	2-1-3		事業名	わたしたちの児童会館づくり事業		
評価(成果)			課題				
<p>児童会館の行事を始め、児童会館の運営に子どもの意見が反映されることにより、子どもたち自身が一層責任感や主体性を持って活動できる児童会館が実現できた。子どもの意見表明権の具現化と、その後の状況を自分たちで確かめ、また考えながら成長していくという観点からも、本事業を一層進める必要がある。</p> <p>また、全館での実施に向けた足固めができ、子どもたちが事業を企画したり地域行事へ参加することで、まちづくりへの関心も育まれている。</p>			<p>児童会館事業を実施するだけではなく、企画や準備、開催までの過程や、人との関わりから学ぶ連帯感や責任感、事業実施での達成感や成果を、児童や指定管理者が実感できるような内容とし、さらに事業終了後も次回開催への検討を意欲的に取り組む気持ちの継続と、構成メンバー以外へ効果的な伝達ができるようにしていく必要がある。</p> <p>また、児童会館利用者のみならず、地域を取り込んでの事業に発展させるには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中・高校生へも参画を呼びかける。 ・地域全体で関心をもってもらえるような事業とする。 ・地域や関連部局との連携や子ども関連事業への児童会館の活用を推進する。 <p>など、幅広い地域や世代で充実した事業を展開できるよう工夫が必要である。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>今後もすべての児童会館に「子ども運営委員会」が設置され、自分たちの意見や要望が成果として館の運営に具現化されることにより、子どもたちが児童会館での活動において責任ある行動や発言を意識し、向上心が身につけられるよう、指定管理者と十分に協議し、子どもたちをサポートをしながら継続して進めていく。</p> <p>また、地域に情報を発信・共有することで、地域の大人と子どもが一体となって事業展開を図るなどの取組も検討していく。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000		
予算	事業費	1,000	1,000	-	-	2,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
一般財源	1,000	1,000			2,000		
実績	事業費	1,001	-	-	-	1,001	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
一般財源	1,001				1,001		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				50.0%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							